

Living Press

vol.8
2012 Winter

家庭で簡単・今すぐできる!

冬でも快適!!
あったか節電ライフ

冬はエアコンや給湯器など電気を使う機会が増える季節。そこで、無駄な消費電力を抑え、効率よくあたためるための「冬の節電」のコツをご紹介します。どれもご家庭で簡単にすぐにご覧いただけるものばかり。環境にもおサイフにもやさしい節電ライフを今日からはじめてみませんか?

セキスイハイム不動産 サポートサービス24

セキスイハイム不動産は24時間 365日入居者をサポートいたします。

昼間専用ダイヤル/AM6:30~PM7:00

☎0120-938-508

夜間専用ダイヤル/PM7:00~AM6:30

☎0120-938-557

セキスイハイム不動産は、住まいの急なお困りごとを24時間365日受け付けています。

《省エネ上手になる5カ条とは?》

1. エアコンの掃除をこまめにする
2. 重ね着をして体をあたためる
3. 足元を重点的にあたため冷えから守る
4. 冷気を防ぎ、熱を逃さない部屋づくり
5. エアコンの暖気を無駄なく循環させる

エアコンのこまめなお手入れや
空気の循環で無駄なく適温に

エアコンが余分な電力を使わず運転できるようにするのが節電の基本。そのため、フィルターのお手入れは定期的にするよう心がけましょう。設定温度は20℃前後を目安に、あたためたい空気が上に溜まりやすいので、風向きを下向きに設定するのがポイント。さらにサーキュレーターや扇風機を使って、室内の空気を循環させると部屋全体があたためやすくなります。ただし、風が直接体に当たると体感温度が下がり寒く感じるので注意を。また、加湿機の使用や洗濯物を室内に干すなどして、適度な湿度を保つことで体感温度は上がります。

まずは衣類の着方を工夫し
体を効率よくあたためて

室内でも重ね着やひざ掛けを使用するなど、衣類の着用にも工夫をしたいもの。特に首、手首、足首をあためると、血流がよくなり、体全体があたためられます。また、コタツや電気カーペットなどで、足元を重点的にあたためるのも効果的です。

部屋にひと手間かけて
室内への冷気をシャットアウト!!

床からの冷気や、窓隙やドアから入ってくる冷たい空気。より少ない電力で効果的に暖房器具を使うため、ひと手間かけて、冷たい空気の侵入を防ぎましょう。例えば、電気カーペットと床の間に断熱シートを挟むだけでも効果的です。また、壁間に取り込んだ太陽の熱や暖房中の熱を保つため、カーテンは2重にするか厚手のものを。さらに窓ガラスの隙間だけを埋めるのではなく、すずめがけできないよう天井から床まで壁一面に垂らすと保温効果が高まります。

